

ボーイスカウト災害ボランティアの心得 (熊本発)

- BS はスペシャリストとみられる。
- BS はサービスをする人とみられる。

この前提にたち

理不尽な要求、苦情(行政、他ボランティアの行動によるものも)、

時には人格攻撃のような場面もあるでしょう。

被災者からみればボランティア、行政の区別はありません。

クレームは真摯に聴き、受容、共感しましょう。

時には罵声を浴びせらせる事も覚悟しましょう。

身近なボランティアは行き場のない怒りをぶつける相手になりえます。

一生懸命「やってあげてる」は通じません。やって当たり前だからです。

苦情も生きているから言える事です。

奉仕の機会を頂いている感謝のみで活動しましょう。

自費での活動も多いと思いますが、そこも感謝の気持ちでひたむきに活動しましょう。